

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	杏林大学
申 請 区 分	タイプB
〔評価コメント〕	
<p>日・中・英のトライリンガル人材の育成は、現代社会のニーズにマッチしており、大学の実績も活かしたユニークな取り組みである。語学力の達成目標も高く、学部の半数近い学生が長期・短期の留学を経験するという計画や、70%以上の学生に通訳・ボランティアの機会を提供する取り組みも高く評価できる。語学力の他に、「スマートでタフな交渉力」を求めていることも適切である。</p> <p>しかしながら、「スマートでタフな交渉力」をどのように育成し、それをどう測定（評価）するのか、また留学やインターンシップ等の成果もどう評価するのかについては必ずしも明確とは言えない。より具体的で綿密な測定（評価）の仕組みが必要である。また、外国人教員の数や外国語による専門の授業の開講についても、より積極的な対応が望まれる。語学を語学としてのみ扱うのではなく、専門教育においても外国語で提供する等、語学教育と専門教育を結ぶ取り組みによって、大学全体のグローバル教育環境を整備していくことが望まれる。</p> <p>学長・理事長のリーダーシップのもとで、今回の外国語学部の取り組みの成果を総合政策学部や国際協力研究科と連携させ、更に全学的にも波及させる必要がある。そのために、より具体的な波及のための計画を立案し、より多くの学生に今回の取り組みの成果を裨益させ、費用対効果の観点からも効率的に維持継続できる体制を整えていくことが望まれる。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	